

## 狂言 ～日本最古の喜劇～

実施日：平成30年11月26日～12月2日 於：メキシコ（メキシコシティ、モンテレイ）、米国（デトロイト）

### ■派遣専門家



茂山 逸平 狂言師

1979年生まれ。京都において400年以上続く狂言師家系「茂山千五郎家」の一員。祖父・四世茂山千作（人間国宝）、父・二世茂山七五三らに師事し、4歳での初舞台を踏んで以降、狂言方の能楽師として活躍。欧米、アジアでの公演や文化庁新進芸術家研修でのパリ留学等、海外での日本文化の発信にも意欲的。さらに、伝統芸能の枠組みの中でもジャンルを超えた新しい試みを深化させており、その活躍の領域はTVや映画、舞台等と幅広い。

※狂言は、能とともに「能楽」として1957年に日本「重要無形文化財」、2008年にユネスコの「人類の無形文化遺産の代表」の一つとして選定。

### ■事業概要

#### ●メキシコシティ



メキシコ国立自治大学での講演

#### ●モンテレイ



モンテレイ工科大学での講演

#### ●デトロイト



ミシガン大学での講演



ベルエボック文化センターでのワークショップ



ヌエボレオン州立大学での講演



ミシガン大学でのワークショップ

### ■実施結果

狂言師の茂山さんが、日本との外交関係樹立130年を迎えたメキシコの首都メキシコシティ、そこから750km北に位置するモンテレイ及び米国のデトロイトの3都市を訪問。狂言の歴史や伝統、ルール、楽しみ方について講演し、実演を交えたワークショップを行いました。狂言特有の発声方法や姿勢、歩き方、感情表現などの所作を、茂山さんが実演して模範を示しながら実技指導。参加者は狂言の理論と実践を体験的に学びました。演劇を専門とする教師や学生らも多く参加し、事業後には「狂言の講演は予想以上の迫力があつた」、「日本の伝統芸能や演劇についてもっと知りたくなつた」、「日本を訪れて、本物の舞台公演を観てみたい」といった声が聞かれました。また、メキシコでは茂山さんはメディアの取材も受け、現地の主要新聞で取り上げられました。